（1962年3月7日 第3種郵便物認可）西鉄組合新聞　（毎月1日発行）

Nishitetsu Kumiai Press

2021.8.1　Vol.1716　8月号

西鉄組合新聞

【発　行　所】福岡市中央区大手門1丁目4番16号
TEL092-771-2931　西日本鉄道労働組合
【編集発行者】川瀬 直之
定価 1部 30円 送料共（この新聞は組合費の中から購読料を徴収しています。）
西鉄労組ホームページ（http://nnr-u.org）▶

1面　2021年度運動方針(案)職場オルグ始まる
1面　全組合員に1万円の臨時給付
1面　私鉄総連、2021年度運動方針決定
2面　グループワーカーズ「組合員学習会」
2面　多重債務防止・保障制度を学ぶ　ユニオンスクール
2面　分会トピックス（壱岐・片江・博多）

第10回中央委員会

■開催日：7月27日（火）
■場　所：組合本部

2021年度運動方針(案)提起 職場オルグ始まる

7月27日、組合本部で、第10回中央委員会を開催し、中央委員・特別中央委員ほか約60名が出席。「第156回定期大会における委任の取り扱い」など、全ての議案を原案どおり満場一致で決定した。また、説明事項では、「2021年度運動方針（案）・予算（案）」を提起し、翌28日から各職場でオルグをおこなっている。今後1年間の組合の運動を決定する大変重要なオルグなので、組合員の皆様の積極的な参加をお願いしたい。

会議風景

※決議内容の詳細は「かべ新聞第10号」参照（分会掲示板、イントラネットの西鉄労組掲示板に掲載）

私鉄総連第88回定期大会

■開催日：7月14日（水）・15日（木）
■場　所：群馬県渋川市

2021年度運動方針決定

私鉄総連は、7月14日・15日、群馬県渋川市で「第88回定期大会」を開催し、全国から約400名の私鉄組合員が結集、2021年度運動方針などを決定した。西鉄労組からは、古賀執行委員長をはじめ、4名が出席した。

大会では、野田鉄道対策副部長が副議長に就任。円滑な議事進行で大役を果たした。また、2021年度運動方針（案）の審議では、代議員と総連執行部の間で白熱した議論が展開され、方針を原案どおり決定。議論の中で、本間副執行委員長が関連事業の政策課題の取り扱いなどについて総連の考えを質した。

大会風景

【参加者】
古賀執行委員長、本間副執行委員長、鞭馬自動車対策副部長、野田鉄道対策副部長

団結がんばろう

【2021年度運動方針】質疑応答概要

E　政治・政策・制度のたたかいと取り組み

本間代議員（西鉄）

国への要請について、他産別をみると私鉄同様に交通運輸・サービス業で苦しむJR連合、航空連合、サービス連合の三産別が合同で、立憲民主党はもとより、経団連、各関係大臣などへ直接、要請をおこなっている。

この三産別の合同要請について、私鉄総連に話があったのか。また、私鉄総連として省庁のトップである大臣に直接要請するつもりはあるのか。

交通政策以外の政策課題について、当労組も関連事業に従事している組合員が多数いる。県、市レベルの政策要求については、単組独自で、連合福岡や福岡県交運労協を通じておこなっているが、国政レベルとなるとそうはいかない。国際物流における危険物輸送や、まちづくり、商業施設での国レベルの政策課題をもっているが、どのような形を通して国に要請していくのかという課題をもっている。そういった交通政策以外の政策課題について、森屋議員に直接、伝えればいいのか、総連を通じてなのか、また課題として取り上げてもらえるのか、教えてほしい。

質問する本間副執行委員長

総連執行部

国への要請行動について、基本的に各省庁の大臣宛への要請をおこなっている。他産別と共同での要請は、交運労協を通じて全体で要請し、要望などを伝えていくことが本筋であると考えている。あわせて、立憲民主党内で情報共有をはかるとともに、森屋議員や辻元議員、政策推進私鉄国会議員懇談会などを通じて、国土交通委員会などで意見反映をはかっている。航空関係については、国際物流の問題など、交運労協の航空・観光部会で議論し、交運労協全体の課題としていくこともひとつの方法であると考える。

今年度より業種別連絡会を立ち上げ、関連事業で働くみなさんの実態把握や課題集約の場としていきたい。関連事業は業種も多く、難しい部分もあるが、連携を深めながら、より良い形を考えていきたい。

全組合員に1万円給付

感染予防対策費として

組合は、第10回中央委員会で、全組合員を対象に、1万円の臨時給付をおこなうことを決定した。マスク着用などの感染予防対策が求められている社会情勢において、それに係る諸費用の負担を緩和することが目的。対象者は、8月1日時点で組合に在籍しているすべての組合員（出向組合員含む）・マスター組合員・パートタイムマスター組合員・パートナー組合員。8月度給与支給時に1万円を給付する。

＜大会宣言＞

新型コロナウイルス感染症が、国内で確認されてから約1年半が経過した。この間、職場では、感染リスクに晒されながらも社会インフラとして、昼夜を問わず安全・安定輸送を支え、懸命に輸送の使命を果たし続けている。感染症の終息が見通せないなか、社会構造が大きく変化していく新たな時代を見据え、さまざまな角度から持続可能な魅力ある産業をめざしていかなければならない。

私鉄産業を取り巻く環境は、超少子高齢化の進行と要員不足など、恒常的な課題に加え、長期化する感染症の甚大な影響により、路線の維持、企業存続の危機に直面している。将来にわたり魅力ある交通産業へと発展させるため、これまで以上に、森屋隆組織内国会議員、辻元清美準組織内国会議員をはじめとする各級議員との連携を深め、交通政策要求実現に向けた取り組みを強化しなくてはならない。

昨年9月に発足した菅政権は、安倍前政権からの悪政を引き継ぎ、数々の疑惑は解明されることなく、依然として国民不在の政治を続けている。さらに、その場凌ぎの感染症対策などから、国民の不安と不満は高まっている。平和で安心して暮らせる社会を創るため、第49回衆議院議員選挙で「辻元清美」準組織内国会議員をはじめ、重点候補者と推薦する全ての候補者の必勝に向け全組合員の総力を結集し、国民に寄り添った「まっとうな政治」を取り戻し、悪政に終止符を打たなければならない。

私鉄総連第88回定期大会は、「厳しい時代（とき）こそ私鉄の絆　職場と歩む産別運動」をスローガンとする、2021年度運動方針を決定した。

今後も、私たちの生活を守るべく、「主要闘争」「交通政策」「政治政策」の3つの柱を強固に取り組み、これまで以上に、私鉄総連・地連・単組の連携を深め「一人でも泣いている者がないように」、この状況を職場組合員とともに乗り越えていくことをここに宣言する。

2021年7月15日
私鉄総連第88回定期大会

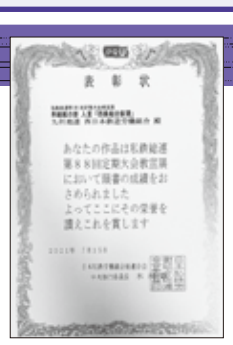
大会副議長を務めて

歴史ある私鉄総連定期大会の議長の任につき、大変光栄に思うとともに責任の重さを痛感しながら、大会に臨みました。全国の私鉄産別が厳しい環境にある中、真摯で活発な議論のもと、1年間の運動方針が決定されました。また、2年ぶりに集合しての定期大会となり、あらためて顔を合わせて討論することの大切さを感じました。貴重な経験をさせていただいたことに感謝するとともに、この経験を今後の活動に活かしていきたいと思います。

【鉄道対策副部長　野田正満】

副議長として降壇挨拶を述べる野田副部長

大会教宣展、西鉄組合新聞が入賞



「私鉄総連第86回定期大会」にあわせて、「定期大会教宣展」が開催され、単組紙の部で西鉄組合新聞が入賞を果たした。西鉄組合新聞の入賞は2年ぶり。審査員からは「1本の記事がコンパクトにまとまっていて読みやすい」との講評を受けた。また、組合員の皆様から応募いただいた作品は大会会場に掲示され、多くの出席者の目をひいていた。

☘大会教宣展の応募にご協力いただき、ありがとうございました☘

グループワーカーズ協議会「組合員学習会」

■開催日：7月18日(日)
■場　所：西鉄イン福岡

グループ経営に対応するための労組の役割などを学習

にしてつグループワーカーズ協議会は、7月18日、西鉄イン福岡で、「組合員学習会」を開催。加盟する西鉄グループ18労組から約40名が出席し、4講座を受講した。

第1講座では、法政大学経営大学院の藤村教授から、コロナ禍で働き方が変わろうとしている中、労組に求められている役割や、グループ経営における労組の役割などについて講演を受けた。藤村教授は、「グループ全体の繁栄がなければ、中核企業の繁栄もない」として、労組もグループ全体の状況を見据えることが重要であると指摘した。

挨拶する古賀議長（西鉄労組）

第2講座では、私鉄総連組織内議員の「森屋隆」参議院議員をお招きし、国会での活動について報告を受けた。森屋議員が、コロナ禍の中、公共交通を守るため、私たち働く者の生活がより良くなるために精力的に活動を展開していることを知ることができた。

続く第3講座では、九州労働金庫から、多重債務に陥らないためのポイントなどについて解説を受け、第4講座では、クレームが発生するメカニズムとその対応について学習した。

▼第1講座「グループ経営における労働組合の役割」
法政大学経営大学院　教授
藤村博之氏

▼第2講座「国会活動報告」
参議院議員（私鉄総連組織内議員）
森屋隆氏

▼第3講座「コロナ禍におけるろうきんの取り組みについて」
九州労働金庫本店営業部　係長
溝口康平氏

▼第4講座「クレームが『安心・ときめき』に変わる授業」
接遇マナーインストラクター
城万紀子氏

受講風景

第3回 ユニオンスクール

■開催日：7月27日(火)
■場　所：組合本部

多重債務防止、保障制度などについて学習

教育宣伝部は、7月27日、組合本部で、第3回ユニオンスクールを開催し、中央委員・特別中央委員、ほか約60名が出席。今回は、第3回福祉活動推進セミナーとして、九州労働金庫と、こくみん共済coopから講演を受けた。

受講風景

第1講座では、九州労働金庫の溝口係長から、コロナ禍で組合員の生活が苦しくなる中、多重債務に陥らないようにするためのポイントについて説明があり、「職場で困っている方がいたら、早めに労働組合や労働金庫に相談するよう声掛けをしていただきたい」と訴えた。

第1講座　溝口係長

第2講座では、こくみん共済coopの中村課長および長岡氏から、11月に実施されるマイカー共済制度の改定内容と、制度が大幅に改善された「こども保障タイプ」について説明があった。

第2講座　長岡氏

参加者からは、「困ったときに頼りになるのが労働金庫であることを職場の組合員に伝えていきたい」「子どもの保障については知らない組合員が多いと思うので周知を徹底したい」といった声があがった。

▼第1講座（九州労働金庫）
「コロナ禍における労金の取り組みについて」
本店営業部係長　溝口康平氏

▼第2講座（こくみん共済coop）
「マイカー共済制度改定のご案内について」
福岡推進本部福岡支所団体推進課　課長
中村俊哉氏
「お子さまの保障の必要性について」
福岡推進本部福岡支所団体推進課
長岡亮太氏

青女協学習会

■開催日：7月29日(木)
■場　所：組合本部

中央幹事が賃金制度などについて学習

青年女性協議会は、7月29日、組合本部で、中央幹事5名を対象にした学習会を開催した。冒頭、北島青女協議長（兼業対策部長）は、「6月に開催予定の男女平等参画セミナーが中止となったため、中央幹事を対象とした学習会を開催することとした」「賃金制度、労働組合の必要性など、初歩的な内容なので、各部門へ持ち帰り、学習会で利用するなどして、一人でも多くの組合員の学習の機会に活かして欲しい」と挨拶。

その後、北島議長から「人事・賃金制度について」、柴田青年部長および黒木女性部長から「労働組合と青年女性協議会について」という内容で、講義をおこなった。参加者からは「分かりやすい内容だった。賃金制度や共済制度について、職場の学習会でも取り上げてみたい」との声があがった。

講義する柴田青年部長

組合本部 8月スケジュール

- ◆10日(火)…事務局会議、医療共済幹事会
- ◆18日(水)…執行委員会
- ◆20日(金)…中央委員会
- ◆26日(木)…医療共済幹事会
- ◆26日(木)…会計監査

※急遽変更となる場合があります。

分会トピックス

指定外運行防止対策を徹底　壱岐分会

年間を通して夏の時期は、「指定外運行」が多発傾向にあります。そのため、壱岐分会では、指定外運行対策の取り組みとして、①誤運行マップを作成し、誤運行の多い箇所を乗務員で共有認識する、②スタッフに誤運行および早発対策を施す、③特快を運行中に「特快であることを忘れて誤停車」することを防止するため、「間違い防止スタッフ目隠し」を作成し、乗務員全員に配ることとし、既に実施している①②に加え、7月からは新たに③を追加しました。これにより、指定外運行を1件でも減らし、壱岐分会の皆さんに楽しい夏をすごして欲しいと思います。

【教宣部長　堺 博史】

2年に1度の家族会総会中止　片江分会

片江分会では、今年度が2年に1度の家族会総会の年でしたが、新型コロナウイルス感染拡大により、家族会総会の開催を不本意ではありますが見送ることを決定しました。そのため、開催中止の返礼品として、組合員のご家族様に西鉄ホテルズギフトカタログより厳選された商品をお配りさせていただきました。まだまだ先が見通しづらい状況ですが、2年後には皆様の笑顔とともに家族会総会を開催するため、1日でも早い収束へ向かうように一人ひとりがやるべきことをおこない、自身や家族、友人を守るための責任ある行動を心がけていきましょう。

【教宣部長　本田 啓】

車内のアルコール消毒や清掃を実施　博多分会

現在、コロナ禍の影響で、東京行きの博多号が運休しています。感染症が収束して運行再開になった時、お客様に安心してご乗車していただくために、博多分会では車内のアルコール消毒をおこなっています。また、営業所内や博多駅周辺の清掃も実施しています。

【教宣部長　川島雅之】

第49回衆院選、「堤かなめ」氏を推薦決定

組合は、「堤かなめ」氏を、第49回衆議院議員選挙の組織外候補予定者として推薦決定した。「堤かなめ」氏は、現職の福岡県議会議員で、福岡県第5区からの立候補を予定している。

堤（つつみ） かなめ
立憲民主党（新人）
1960年10月27日生まれ

福岡県第5区
福岡市南区の一部／筑紫野市／春日市／大野城市／太宰府市／朝倉市／筑前町／東峰村／那珂川市

■第49回衆院選組織外推薦候補

福岡1区：坪田（つぼた） 晋（すすむ）	福岡4区：森本（もりもと） 慎太郎（しんたろう）
福岡2区：稲富（いなとみ） 修二（しゅうじ）	福岡7区：青木（あおき） 剛志（つよし）
福岡3区：山内（やまうち） 康一（こういち）	福岡10区：城井（きい） 崇（たかし）

立憲民主党福岡県連、衆院選へ向け選対本部発足

立憲民主党福岡県連などは、7月3日、次期衆院選に向けた「福岡県合同選挙対策本部」発足式を福岡市内で開催。西鉄労組からは、古賀委員長、野田政治部長が出席した。発足式では、活動方針がとりまとめられ、間近に迫る解散総選挙での政権交代実現に向けて、連合福岡、部落解放同盟県連、立憲福岡県連の県内組織力を結集し、県下全域で総選挙を戦う体制を構築した。